

夢・希望を胸に新たなスタート

朝夕とも涼しくなり、子どもたちも身体をしっかり動かして活動するようになりました。

今月の3日には運動会があります。子どもたちが自信を持って表現したり、身体を動かす中で、この一年、子どもたち一人ひとりの成長した姿を感じていただければと思います。

先日のごことです。子どもたちにリレーの練習をする時の走る組み合わせを決めさせていた時のことです。なかなか決まらないグループの子どもたちに担当が、「どうやって決める?」と声をかけました。「じゃんけんがいい!」、「じゃんけんはいやだ」、「にらめっこは?」「ひまわりぐみ(年長児)は誰も笑わんよ(勝負がつかない、決まらない)」などいろいろな意見が出てきました。

結局じゃんけんで決めることになったのですが、こうしたやりとりを見ていると、ひとつの活動をする中でも、子どもはさまざまなことを考えたり、感じたり、心を動かしていることがわかります。

このような子どもたちの様子を見てみると、私たち大人は、自分で決められる力を持っているのに、一つひとつのことに口出しをしたり、大人の都合で決めてしまったりして、子どもの持っている「自分のことは自分で決める」力を発揮させていないこともあるのではないのでしょうか。

子どもが困った時や迷った時には、何に困っているのか、などしっかり話を聞き答えてあげ、後は子どもに決めさせることが必要です。

コロナ禍での運動会ということで、観覧される際には密を避けたり、感染予防のための検温や消毒などご迷惑をおかけしますが、保護者のみなさまも子どもたちと一緒に、楽しいひと時を過ごしていただきたいと思います。

新園舎での生活がまもなくスタートします。保

育園の行き帰りに、新園舎が少しずつ出来上がっていき様子を見ながら、子どもたちも保護者の方も完成を心待ちにしておられたことと思います。

新園舎の園庭には、大きな総合遊具はありませんが、日々「どんなことして遊ぼうかな」と考えながらあそびを見つけたり、「明日はこのつづきをしよう」などとあそびが継続していったり、「今度はこうしてみよう」と、いろいろなことを試したり、「やってみよう」と意欲的にチャレンジすることができる場所にしたいなと思っているところです。

その一つとして小さな池を作ります。池は職人さんにモルタルを塗ってもらうのですが、その一部に子どもたちが作ったモニュメントを飾り、完成したら子どもたちがポンプで水を流せるようになります。園庭作りに少しでも参加できる体験が、子どもたちが新園舎を身近に感じ、愛着がわくことにつながることでしょう。

新しい園舎というだけではなく、子どもたちの生活やあそびに合わせて、保育園が子どもたちにとって楽しく自分らしく過ごせる場所になるようにしたいと思っています。新しい環境の中で、戸惑うことがあるかもしれませんが、園と家庭で連携をとり、お子さんの様子を伝え合い、見守っていきましょう。

災害から2年、今、子どもたちや職員が笑顔で過ごせているのは、たくさんの方に支えていただいたからだと思います。感謝しております。

これからも、保護者の方、地域の方に力をお借りしながら、集い、語り合い、笑顔が広がる保育園になることを願い、実現できるように努力していきたいと思っています。

園長

モニュメントづくり

水とセメントを混ぜて・・・



できたよ! きれい~ みなちがってみんなすてき



モニュメントできあがり!!



園庭に小さな池・・・みんなでモニュメントづくりを楽しもう

新園舎の園庭でどんなふうにあそびが広がるかな



秋といえば・・・



読書の秋・スポーツの秋・芸術の秋・食欲の秋などと言われていきます。

気候も良く過ごしやすい秋はいろいろなことに落ち着いて向き合える季節です。

お子さんの好きなことや興味のあることを一緒に体や心を動かしてやってみることで、お子さんの見えなかった姿に出会えるかもしれませんね。

みんなにありがとう

小学校での生活もあと少しになりました。小学校の先生方やお兄さん、お姉さんにたくさんのお話を教えてもらい助けてもらいました。

「ありがとう」の感謝の気持ちを伝える会が6日(火)にあります。

また一緒に過ごせることを楽しみにしています。



モニュメントを飾りに行きます

10月5日(月) 10時から
※雨天の場合は8日(木)

新園舎に行って子どもたちの可愛い手で作ったモニュメントを園庭の小さな池に飾ります。全児で行きたいと思っています。どんなふうに見えるか楽しみです。